

臨床研究のご協力をお願い

重症患者における急性腎傷害に関する多施設レジストリ

研究の目的

集中治療室に入室して治療をうけるような重症患者にとって、急性腎傷害は高い頻度で認められる合併症です。急性腎傷害の病院死亡率は 25%程度と高く、急性腎傷害の重症度と比例すると言われていています。しかし、これらの調査報告は、多施設・多国間で行われた比較的大規模な調査ではありますが、日本における大規模調査は行われておらず、日本の保険診療の枠組みの中で行われている診療の実態と予後への影響はわかっていません。今回、当集中治療部に入室された急性腎傷害の患者さんの診療録を用いることで、日本国内の重症患者における急性腎傷害の診療実態を調査するための多施設レジストリに参加することを目的とします。この多施設レジストリに参加することで、今後の急性腎傷害診療の質の改善を目的とした研究の基盤を作ることを予定しています。

(多施設レジストリとは、多くの医療機関が参加して、患者さんのご病気や治療経過の情報を集めるデータベースのことです。)

研究の方法

平成 28 年 7 月 1 日から同年 12 月 31 日までに当集中治療部に入室された急性腎傷害を呈した方が対象となります。主な調査内容は、患者さんの背景(性別、生年月日、病名、慢性疾患の有無など)、ICU 在室中の情報(重症度や検査結果、治療内容など)、転帰に関してです。本調査は純粋な調査であり、患者さんへの直接的な介入や影響はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて匿名化され、個人が特定されることは決してありません。自分の情報を利用して欲しくない場合には、研究責任者にまでご連絡ください。

なお苦情がある場合は、研究支援課で受け付けますので、ご連絡ください。

本研究への質問に関する連絡先

麻酔科学・集中治療医学講座 集中治療医学部門

助教 方山 真朱 (0285-58-7392)

苦情がある場合の連絡先

自治医科大学 研究支援課(0285-58-7550)

平成 28 年 3 月 1 日 作成